

令和8年度オープンデータ公開・利活用推進業務委託 質問票回答

項番	質問日	質問事項	回答
1	R8.7.6	「代表市町村は大分県が1市町村選定することを想定」とありますが、現時点で候補となっている市町村や検討中のデータテーマ（分野）があれば教えてください。	代表市町村については、大分市を予定しています。 尚、データテーマ（分野）については、仕様書に記載のとおり受託者にて①受託者が運営しているオープンデータカタログサイト等から全国100以上の自治体のオープンデータのダウンロード数、アクセス数、API利用状況を分析、②全国自治体のニーズ・活用事例分析 を行い、定量的な数値とニーズ分析を踏まえて、当県及び代表市町村との協議を経て選定することになります。そのため現時点で想定するテーマはございません。
2	R8.7.6	「共通的なクレンジングツール」とありますが、想定している形式（Excelマクロ、単体スクリプト、Webアプリ等）に指定はありますか。また納品時のソースコード・ロジックの著作権帰属の扱いを確認したい。	クレンジングツールは、元データの形式、利活用しやすい公開形式（ファイルレイアウト、ファイル形式等）、効果的な公開手法を踏まえて、そのデータに最適なクレンジングツールを作成及び提供いただく想定です。そのため現時点で形式に指定はありませんが、仕様書に記載のとおり県内市町村（18市町村）へ横展開することを想定しているため各自治体の環境に依存せずにかつ追加費用なく使用できることを前提に、当県及び代表市町村との協議のうえ決定することになります。 ツール等の成果物は、仕様書4（1）記載のとおり所有権及び著作権は当県に帰属するものとします。
3	R8.7.6	本業務の遂行にあたり、データ分析やツール開発の一部にAI（生成AI等のクラウドサービス）を活用することを想定していますが、機密保持及び個人情報保護に関する特記事項との関係で、事前の承諾・届出等の手続きは必要になりますか。	各自治体が定めている生成AIの運用ルールに準ずることになりますが、当県及び県内市町村の公開前のデータ自体を生成AI等のクラウドサービスにアップロードすることは想定していません。
4	R8.7.6	「現地打合せ6回以上」とありますが、すべて対面（大分県内への出張）が必須か、部オンライン（Web会議）での実施も認められますか。	仕様書記載のとおり現地打合せ6回以上（すべて対面）でご検討ください。